

各 位

会 社 名 ITbook ホールディングス株式会社  
 代 表 者 代表取締役社長 前 俊守  
 (コード：1447、東証マザーズ)  
 問合せ先 執行役員管理本部長兼 CFO 神谷 修司  
 (電話番号：03 - 6264 - 8200)

### 第3回新株予約権（行使価額修正条項及び行使許可条項付） の取得及び消却に関するお知らせ

当社は、本日、2021年1月4日に発行した第3回新株予約権（行使価額修正条項及び行使許可条項付）（以下、「本新株予約権」といいます。）について、残存する本新株予約権の全部を取得するとともに、取得後直ちに本新株予約権の全部を消却することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 本新株予約権の取得及び消却の概要

(1)	取得する及び消却する 新株予約権の名称	ITbook ホールディングス株式会社第3回新株予約権
(2)	取得する及び消却する 新株予約権の数	13,429 個（潜在株式数 1,342,900 株）
(3)	取得及び消却日	2022年3月30日
(4)	取得価額	6,513,065 円（本新株予約権 1 個につき 485 円）
(5)	消却後に残存する 新株予約権の数	0 個

(注) 上記「(2) 取得する及び消却する新株予約権の数」に記載の個数及び「(4) 取得価額」の総額は、本日以降、本新株予約権が行使されなかったと仮定した場合の数値を記載しております。

#### 2. 本新株予約権の取得及び消却の理由

当社は、2020年12月16日付「第三者割当てによる第3回新株予約権（行使価額修正条項及び行使許可条項付）の発行に関するお知らせ」に記載のとおり、IT分野での積極的投資、グループ企業の事業拡大のための投資及びM&A資金、金融事業の事業拡大資金、借入金の返済資金調達のため、本新株予約権の発行を公表し、2021年1月4日付で新株予約権を発行し、1,810百万円の資金調達を計画しておりました。

本新株予約権については、現時点までに発行総数 30,000 個（3,000,000 株）のうち 16,571 個（1,657,100 株）が行使（行使率：55.2%）されました。当該行使によってこれまで調達した 774 百万円については、当初予定しておりました資金使途のうち、① IT分野での積極的投資に 164 百万円、② グループ企業の事業拡大のための投資及びM&A資金に 200 百万円、③ 金融事業

の事業拡大資金に 200 百万円、④借入金の返済に 210 百万円充当しております。このうち、③金融事業の事業拡大資金については、想定していた支出に充当することで調達目的をおおむね遂行できたものの、当初予定されていたその他の資金用途についての未充当額は 1,036 百万円となっております。本新株予約権を通じた資金調達は、当初順調に進みましたが、足元は当社株価が軟調に推移しており、本新株予約権の行使が進みにくい状況にあることに加え、事業環境の変化もあり、①IT分野での積極的投資及び②グループ企業の事業拡大のための投資及びM&A資金として想定していた一部の支出については実施を見送り、今後支出を見込んでいる部分と④借入金の返済を考慮しても、支出予定時期である 2023 年 3 月まで銀行借入（2022 年 3 月中に約 400 百万円）及び自己資金により充当する目処がついたことから、当社は、本新株予約権を通じた資金調達を終了し、残存する本新株予約権の全部の取得及び消却を実施することといたしました。

なお、当社は、当社グループの将来的な発展と企業価値の向上、さらに社会問題解決型企業を目指すにあたり、より有効な資金調達方法を検討してまいりました。その結果、第三者割当による新株式の発行（以下、「本第三者割当増資」といいます。）による新たな資金調達を行うことといたしました（詳細については、本日付「第三者割当による新株式の発行に関するお知らせ」をご参照ください。）。本第三者割当増資の割当先である大和ハウス工業株式会社は、当社グループの既存事業や新規事業とのシナジー、さらに今後の両社の事業面における関係性の構築・強化を図れるものとして、本第三者割当増資を引き受けていただいております。

本第三者割当増資で調達した資金により、当社グループの中長期的な発展のため、新たな資金用途を設け充当していく予定であります。

### 3. 今後の見通し

本新株予約権の取得及び消却が当期の業績予想に与える影響は軽微であります。開示すべき事項が今後発生した場合は、速やかにお知らせいたします。

以上